平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策	施策体系コード 4-2-2 事業名 下水熱			事業名	熱有効利用モデル事業			
担当 環境局環境都市推進部エコエネルギー推進課 齊藤 ៤211-2872							et211-2872	
					全	体	計画	
	○未利用エネ						<年度別の事業内容>	
	保健センター 減、省エネル					出量削	○平成18年度に屋内設備工事	
事	/成、11 二个//	イー・腔負	門例別木で	で、対して			○平成19年度に屋外下水処理水引き込み工事を行い、運転を 開始。	
							○平成21年度までデータ収集、効果、課題等の検証を継続。(委	
業							託調査)	
//~								
内								
容								
		成 19 年	度事業	内容(決算)		平成20年度事業内容 (決算)	
事	○実証試験を	と開始した。					○実証事業により効果、課題等の検証を行った。 ○信頼性・維持管理の向上のため設備の改良を行った。	
							○信頼性・維持官壁の向上のため設備の収及を行うた。	
業								
内								
容								
量								
場								
-///3								
所		成 21 年					平成22年度事業内容(予算)	
	○21年度末で	で実証事業	を完了し、	設備を西区	:役所に引き	渡した		
	後、実用段階	に入る。						
規								
凡兄								
144								
模								
•								
/d.								
件								
)K/								
数								
等								

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-2			事業名	下才	《熱有効利	用モデル	事業			
達 成 目 標 の 状 況											
	項	目		18年月	度末 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
西区民・保健センタ	アーにおける	5二酸化炭	素排出削減	_	_	前システム比 約44t削減	前システム比 約38t削減	前システム比 約28t削減	前システム比 約50t削減	前システム比 約50t削減	
【参考】エネルギー	削減量(原	油換算kL)				前システム比 16.2kL	前システム比 15.2kL	前システム比 13.3kL			
【参考】エネルギー	削減量変化	上率(H19年	度基準)			100%	約94%	約82%			

市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)

■市民との連携、市民参加

市ホームページ等で事業紹介

■企業等との連携・協働

[資金協力] 北海道電力(株)との共同研究契約を結んでおり、研究費は各々が負担している。

[人材協力] 上記契約により技術的な協力を得ている。

「情報協力」該当なし

[その他の協力] 該当なし

■市民・企業等が参加しやすい環境づくり

評 価(成果)

課題

○本市が目指すエネルギーを有効に利用する都市の実現に向け、これまで未利用であった下水処理水の排熱利用を実現し、CO2削減効果、エネルギー削減効果を定量的に確認することができた。但し、CO2排出削減の達成量は、電気の排出係数が大きく変化(23%増)したため、当初の目標値よりも大きく下回った。これを補完するためにエネルギー削減量の変化状況も参考として示した。

○下水処理水をオートストレーナにて処理はしているが、それでも ヒートポンプの熱交換部分に汚れが付着し、効率が低下している。 今後、3年に1度は熱交換器の薬品洗浄が必要である。

今後の事業の予定・方向

○本モデル事業により、下水熱利用によるエネルギー削減や環境負荷削減効果が確認できたが、現実には維持管理上の課題も明らかになった。今後は、下水処理水の熱利用を公共施設に普及するためには、処理水の安定供給や処理水ルートに隣接する施設の選択等の検討が必要である。

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3)_(単位:千円)

施策体系コード 4-2-2			事業名						
				事 業	費の推	移			
	項	[目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
	事	業	費	23,000	1,000	1,000		25,000	
	財国			9,000				9,000	
計画	源市		債	8,640				8,640	
	内そ		他	360				360	
	訳一	般	財 源	5,000	1,000	1,000	0	7,000	
	事	業	費	23,000	1,000	1,000	0	25,000	
	財国			9,000	0	0		9,000	
予 算	源市	•	債	8,640	0	0		8,640	
	内そ	の	他	360	0	0		360	
	訳一	般	財 源	5,000	1,000	1,000	0	7,000	
	事	業	費	43,331	4,105	939		48,375	
	財国			21,000	0			21,000	
実 績	源市	•	債	15,598	0			15,598	
	内そ	の	他	6,733	0			6,733	
	訳一	般	財 源	0	4,105	939		5,044	
事	業費	の進想	率	(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費)/(計画事業費)					
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)									

《全体》

事業費には建設局執行分も含まれている。

「19年度

-詳細設計の結果、当初計画に対し工事費が増加した。また当初H18に見込んでいたNEDO補助がH19 に交付された。(その他財源) 「20年度〕

他事業の予算を節約・流用し設備改修を行った。

[21年度]

[22年度]